

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

粉浜小	学校
-----	----

児童数	64
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.81	19.81	32.81	44.31	51.03	9.57	144.56	21.25	53.91
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.80	18.91	36.43	41.00	40.43	9.92	136.83	11.72	53.61
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

体力合計点では、大阪市・全国平均に対して、男子は上回っているが、女子は全国平均を下回る結果となった。運動特性で見ると、男女ともに、「ねばり強さ」が特に長けており、「体の柔らかさ」や「タイミングの良さ」、「力強さ」に課題が見られる。

質問紙調査の質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」に関して、肯定的な回答の割合が、男子は大阪市・全国平均に対して上回っているが、女子は大阪市・全国平均に対して下回っている。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、女子は20%であった。男子は、1週間の総運動時間が60分未満の児童はいなかった。女子の運動時間が短いことが課題である。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

「なわとびがんばり期間」や「かけ足期間」などの体育行事を通して、寒い中でも体を動かし、根気強く継続的に運動に取り組む姿勢が身につけている。その結果、運動特性の「ねばり強さ」に繋がったと考えられる。また、各学年運動委員会が中心となり、業間にボールを投げる運動をする機会（運動集会）を取り入れている成果が表れ、男子のソフトボール投げが大阪市・全国平均を上回った。

質問紙調査の「体育の授業は楽しいですか」に関して、男女ともに肯定的な回答をしている割合が9割近くあるが、「今後どのようなことがあれば、今より体育の授業が楽しくなると思うか」という質問に、「自分に合ったペースで行うことができた」と答えた児童が男女ともに半数を超えていた。そのため、今後はできるだけ探究的な活動を取り入れ、児童が主体的に運動に向き合えるような体育科の授業づくりを進めていきたい。そうすることで、運動することが好きな児童が今よりも増えて、児童が積極的に運動を行うことで、運動能力の向上につながると思う。